

【一般診療所（無床）A：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 200人
	再診患者延べ数	約 800人
	院外処方率	100%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.0億円

職員	医師	1人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	3人
	その他の職員	5人
主たる診療科目		神経内科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 主たる診療科目である神経内科以外に、内科、小児科、耳鼻咽喉科も標榜。
- ・ 医療安全のために、内部レビュー・ラウンドに取り組んでいる。
- ・ 1990年の開設時より、手洗い機器やオートクレーブを導入するなど、早い時期から医療安全に対する取り組みがみられる。
- ・ 病院、介護事業者と情報提供の形で機能連携している。連携件数は、両者ともに月間1～2件である。
- ・ 防犯システムを10年以上前に導入した。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名	年間費用			
	人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	6	24	24
	院外研修・活動	-	-	-
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	-
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	132
	医療機器等の管理等	.	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	9
	廃棄物処理・保管	.	.	59
その他	インシデント／アクシデントレポート	-	-	6
	職業感染防止対策	.	.	10
	賠償責任保険	.	.	92
合計		6	24	308
職員1人当たり費用		.	3	34
医業収入割合		.	0.0%	0.3%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）B：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 300人
	再診患者延べ数	約 2,000人
	院外処方率	100%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.1億円

職員	医師	2人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	1人
	その他の職員	4人
主たる診療科目		呼吸器科、循環器科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 内視鏡を扱うために、その洗浄装置を導入している。
- ・ 院外処方のため薬剤の取り扱いが肝炎患者用の注射が主なものになっている。
- ・ 肝炎患者がいるため、抗体検査を実施している。
- ・ 医事紛争のための外部委員会に参加し、対策検討に取り組んでいる。
- ・ 内視鏡、神経ブロック使用時に特に説明に注意している。
- ・ 病院、薬局、介護事業者と情報提供の形で機能連携している。連携件数は、病院が月間20件、薬局が月間100件、介護事業者が月間2～3件である。
- ・ 受付で患者への投薬内容について過去の薬歴とのチェックを行っている。受付スタッフの交代はほとんどないため、患者の把握ができる。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	-	-	-	-
	院外研修・活動	114	692	-	692
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	1,005	1,005
	医療機器等の管理等	.	-	480	480
	医薬品等の管理等	.	-	18	18
	廃棄物処理・保管	.	.	264	264
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	21	21
	賠償責任保険	.	.	140	140
合計		114	692	1,928	2,621
職員1人当たり費用		.	99	275	374
医業収入割合		.	0.6%	1.8%	2.4%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）C：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 240人
	再診患者延べ数	約 1,400人
	院外処方率	99%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.5億円

職員	医師	2人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	3人
	その他の職員	3人
主たる診療科目		内科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 一部院外処方もあるが、大半が院内処方。
- ・ インシデント・アクシデントレポートの作成はなかったものの、ヒヤリハット事例に関するミーティングが開催されている。
- ・ 感染制御のために隔離室を設けている。
- ・ 患者の自己決定への説明は月 40 人程度に対して行っている。
- ・ 病院への紹介が月間 70 件程度、病院からの逆紹介が月間 10 件程度、訪問看護ステーションとの連携も月間 5～10 件程度ある。
- ・ 施設長が地域ケア会議の議長を努め、3ヶ月に1回会合を開催している。
- ・ 地域情報網を利用した安全情報の収集を行っている。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	12	48	.	48
	院外研修・活動	1	7	1	8
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	11	11
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	387	387
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	14	14
	廃棄物処理・保管	.	.	500	500
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	24	24
	賠償責任保険	.	.	150	150
合計		13	55	1,087	1,141
職員1人当たり費用		.	7	136	143
医業収入割合		.	0.0%	0.7%	0.8%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）D：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 230人
	再診患者延べ数	約 900人
	院外処方率	100%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 0.9億円

職員	医師	1人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	3人
	その他の職員	3人
主たる診療科目		小児科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 施設管理者である医師が医療安全管理責任者、看護師1名が医療安全対策担当者となっている。
- ・ 医療安全に関するマニュアル、感染予防マニュアル、医薬品取り扱い規約を医師と事務職員で作成している。
- ・ ワクチン等在庫保管や管理、要指導薬の在庫保管や管理をそれぞれ毎週、2週間に1度程度実施している。
- ・ 患者誤認防止、医薬品等の誤認防止、処方せん内容の確認を行っている。
- ・ マニュアルに基づき、医療者間及び医療者・患者間の確認作業を行っている。
- ・ 保険薬局との間で診療情報提供のため月間50件程度連携をはかっている。
- ・ 患者相談窓口をホームページ上に開設している。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	33	122	-	122
	院外研修・活動	20	121	63	184
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	294	294
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	28	52	80
	廃棄物処理・保管	.	.	226	226
その他	インシデント/アクシデントレポート	3	13	-	13
	職業感染防止対策	.	.	195	195
	賠償責任保険	.	.	80	80
合計		56	284	910	1,195
職員1人当たり費用		.	36	114	149
医業収入割合		.	0.3%	1.1%	1.4%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	164	38	.	.
物件費	-	-	34	13	260	27
合計	-	-	198	51	260	27
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.3%	0.0%

【一般診療所（無床）E：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 200人
	再診患者延べ数	約 2,200人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.5億円

職員	医師	1.8人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	6~10人
	その他の職員	5人
主たる診療科目		内科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 同一法人内で老人保健施設、デイケアも運営。デイケアは同一建物内にある。
- ・ 医療安全のために、医師だけではなく看護師長も関わっているほか、品質・リスク管理マネージャーを配置している。内部レビューのための監査員も別途任命している。
- ・ 2002年にISO9001を取得した。その後毎年維持審査を受審している。その過程で各種マニュアルをすべて整備して、保管場所、更新状況等も一括管理するようになった。新規受審の際には外部のコンサルタントを招き、コンサルを依頼した。
- ・ 医師間また医師と看護師の間の連絡のために、カルテに記載する内容が標準化された。標準化されたことにより、医師間で診療内容の確認が行えるようになった。
- ・ 内視鏡の使用にあたっては、説明を慎重に行い、同意書をとっている。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	3	9	.	9
	院外研修・活動	32	74	0	74
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	-	-
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	1,273	1,273
	医療機器等の管理等	.	-	166	166
	医薬品等の管理等	.	-	-	-
	廃棄物処理・保管	.	.	336	336
その他	インシデント／アクシデントレポート	4	12	-	12
	職業感染防止対策	.	.	48	48
	賠償責任保険	.	.	74	74
合計		39	95	1,896	1,991
職員1人当たり費用		.	7	147	154
医業収入割合		.	0.1%	1.2%	1.3%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	102	2	60	-	.	.
物件費	6,943	428	20	-	-	-
合計	7,045	430	80	-	-	-
医業収入割合	4.6%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【一般診療所（無床）F：基本情報（平成16年6月の状況）】

患者	初診患者数	約 60人
	再診患者延べ数	約 700人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.0億円

職員	医師	1人
	歯科医師	0人
	薬剤師	0人
	看護職員	3人
	その他の職員	2人
主たる診療科目		小児科

【医療安全に関する取り組み状況】

- ・ 主たる診療科は小児科。アレルギー科も標榜している。
- ・ 施設の管理者が医療安全の管理者となっている。
- ・ 医療安全を重視していることをホームページ上で掲載している。
- ・ 患者同士での感染を防ぐため、隔離待合室を設けている。また健診や予防接種に来た人のためには入り口を別にした部屋を設けている。
- ・ 医の倫理・医療安全講習会や医療事故防止講習会に参加している。

【医療安全の取り組みに係る費用（平成16年度1年間）】

項目名	年間費用			
	人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	83	273	273
	院外研修・活動	6	40	53
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	86
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	155
	医療機器等の管理等	.	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	-
	廃棄物処理・保管	.	.	72
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	11
	賠償責任保険	.	.	188
合計		89	313	524
職員1人当たり費用		.	45	75
医業収入割合		.	0.3%	0.5%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所A： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 250人
	再診患者延べ数	約 8,200人
	院外処方率	100%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 10.2億円

職員	歯科医師	16～20 人
	歯科衛生士	36～40 人
	歯科技工士	6～10 人
	事務職員	11～15 人
	その他の職員	5 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 比較的大規模の歯科診療所であり、歯科技工室がある。技工物は一部外注。
- ・ 安全管理責任者、安全管理推進者、安全管理担当者を任命している。
- ・ 安全管理部門定例会議として理事会、運営会議、主任会議が定例的に開かれているほか、医薬品及び感染制御に関する診療所会議が月 1 回の頻度で開催されている。
- ・ インシデント及びアクシデントレポートの分析・改善策立案等の活動を月 1 回程度行っている。
- ・ 診療マニュアル、診療介助マニュアル、及び感染・消毒マニュアルを作成している。
- ・ 心電計、患者監視装置、患者監視モニター、監視除細動装置を導入している。
- ・ 高圧蒸気滅菌機、ホルマリンガス殺菌器を導入している。
- ・ 消毒キャビネット、手洗いキャビネットを複数設置している。
- ・ 患者相談（苦情等を含む）窓口を設置している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	2,422	11,362	.	11,362
	院外研修・活動	24	75	300	375
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	1,618	1,618
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	5,333	5,333
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	50	95	145
	廃棄物処理・保管	.	.	1,092	1,092
その他	インシデント／アクシデントレポート	139	632	-	632
	職業感染防止対策	.	.	163	163
	賠償責任保険	.	.	368	368
合計		2,585	12,118	8,968	21,086
職員1人当たり費用		.	153	114	267
医業収入割合		.	1.2%	0.9%	2.1%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	1,765	-	.	.
物件費	-	-	-	-	160	-
合計	-	-	1,765	-	160	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 B： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 270人
	再診患者延べ数	約 1,800人
院外処方率		0%
医業収入(平成16年度1年間)		約 2.1億円

職員	歯科医師	6～10人
	歯科衛生士	2人
	歯科技工士	3人
	事務職員	3人
	その他の職員	6～10人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 安全管理委員会、感染防止対策委員会、医療事故調査委員会を開催し、ほかに QMS 講習、全職員によるスタッフミーティングを月 1 回の頻度で実施している。
- ・ 歯科医師を中心に、院外の麻酔科研修会及び院内感染研修会に参加している。
- ・ スタッフマニュアル、品質マニュアル、教育訓練記録を作成している。
- ・ ユニットの定期点検、X 線量測定を定期的に外注で実施。医薬品の管理・保守に関する勉強会を年 2 回開催している。ホルマリンガス殺菌器を導入している。
- ・ ISO9001 を 2005 年度に受審しており、2006 年度に更新受審している。
- ・ 一般診療所、病院、介護事業者と情報提供の形で機能連携している。連携件数は、一般診療所が月間 5 件、病院が月間 3 件、介護事業者が月間 10 件である。
- ・ 患者相談（苦情等を含む）窓口を設置し、担当歯科医師が苦情担当係として対応している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	468	1,622	-	1,622
	院外研修・活動	46	212	40	252
設備	安全管理に係る機器・設備等	-	-	937	937
	感染制御に係る機器・設備等	-	-	1,043	1,043
	医療機器等の管理等	-	150	-	150
	医薬品等の管理等	-	132	-	132
	廃棄物処理・保管	-	-	164	164
その他	インシデント/アクシデントレポート	47	214	-	214
	職業感染防止対策	-	-	30	30
	賠償責任保険	-	-	10	10
合計		561	2,330	2,223	4,553
職員 1 人当たり費用		-	117	111	228
医業収入割合		-	1.1%	1.1%	2.2%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT 機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	287	126	533	192	-	-
物件費	3,500	350	50	50	150	-
合計	3,787	476	583	242	150	-
医業収入割合	1.8%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%

【 歯科診療所 C： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 100人
	再診患者延べ数	約 400人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 0.3億円

職員	歯科医師	1人
	歯科衛生士	1人
	歯科技工士	1人
	事務職員	1人
	その他の職員	0人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 安全管理の責任者は施設の管理者が兼務。
- ・ 医療安全に関する会合を開くと共に、感染対策マニュアル研修を院内で実施している。
- ・ 歯科医師が、感染症講演会や HIV 歯科診療に関する研究会・協議会に参加している。
- ・ インシデントレポート及びアクシデントレポートの作成には 1998 年度から取り組んでいるが、2004 年度は発生していない。
- ・ 感染対策マニュアル、針刺事故対策マニュアルを作成している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	120	394	.	394
	院外研修・活動	10	61	28	89
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	170	170
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	939	939
	医療機器等の管理等	.	-	-	-
	医薬品等の管理等	.	-	-	-
	廃棄物処理・保管	.	.	27	27
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	12	12
	賠償責任保険	.	.	15	15
合計		130	455	1,191	1,646
職員1人当たり費用		.	114	298	411
医業収入割合		.	1.4%	3.7%	5.1%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	46	23	.	.
物件費	-	-	15	3	-	-
合計	-	-	61	26	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 D： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 70人
	再診患者延べ数	約 820人
院外処方率		4%
医業収入(平成16年度1年間)		約 0.9億円

職員	歯科医師	2人
	歯科衛生士	1人
	歯科技工士	1人
	事務職員	1人
	その他の職員	1人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 感染防止対策委員会、医療事故調査委員会を開催し、ほかにインプラント事故検証会(年2回)、スタッフミーティング(月1回)を開催している。
- ・ 超音波洗浄器を5台使用している。乾熱滅菌器のほか、アルコール滅菌器、ホルマリンガス殺菌器を導入している。また、月2回業者委託で院内清掃・消毒を行っている。
- ・ 器械・器具を年2回総点検するほか、滅菌器の作動確認(出張点検)、回転切削器具の整備・外部修理、パー類のチェックと交換、治療用ミラーの全交換などがなされている。
- ・ 医療者間の確認作業として、外科手術依頼の際にカルテ、レントゲンで二重に確認している。
- ・ 患者への説明として、デジタルレントゲンコピー、口腔カメラを使用した患者の自己決定のための説明を行うと共に、検査結果記入文書を活用した注意事項の説明を行っている。
- ・ 機能連携として、医科主治医との意見交換が月3件ある。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	92	348	.	348
	院外研修・活動	8	35	1	36
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	348	348
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	3,877	3,877
	医療機器等の管理等	.	600	465	1,065
	医薬品等の管理等	.	-	27	27
	廃棄物処理・保管	.	.	45	45
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	24	24
	賠償責任保険	.	.	78	78
合計		100	982	4,866	5,848
職員1人当たり費用		.	164	811	975
医業収入割合		.	1.1%	5.7%	6.8%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	29	12	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	29	12	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 E： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 50人	職員	歯科医師	1人
	再診患者延べ数	約 300人		歯科衛生士	1人
院外処方率	0%	歯科技工士		0人	
医業収入(平成16年度1年間)	約 0.5億円	事務職員		1人	
		その他の職員		3人	

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 感染症対策講習会、HIV 歯科診療に関する研究会に参加している。
- ・ 消毒マニュアル、スタッフ教育マニュアルを作成し、それぞれ適宜更新している。
- ・ 高圧蒸気滅菌器及び超音波洗浄器を導入。また、ユニットの保守点検を年 2 回行っている。
- ・ 医療者間の確認を確実にするため、週 1 回全職員参加のスタッフミーティングを開催している。
- ・ マニュアルに定められている医療者間の確認作業は 2 種類で、1 日 5 件程度。
- ・ 患者の自己決定のための説明は 1 日平均 2 件、1 件の説明に平均して 20 分程度かけている。
- ・ 診療行為前後の注意事項の説明は年間で約 200 件、1 件当たり 15 分程度かけている。
- ・ 機能連携として、薬局との処方内容についての確認などを行っている。
- ・ 患者 1 人ごとに器材へのバリアフィルムの貼付やヘッドカバー交換を含む前準備を行っており、歯科助手が 5 分程度かかっている。また、滅菌消毒に 1 日当たり延べ 2 時間程度かかっている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	90	316	.	316
	院外研修・活動	28	138	43	181
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	70	70
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	2,198	2,198
	医療機器等の管理等	.	100	-	100
	医薬品等の管理等	.	2	14	15
	廃棄物処理・保管	.	.	120	120
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	11	11
	賠償責任保険	.	.	8	8
合計		118	555	2,464	3,019
職員 1 人当たり費用		.	93	411	503
医業収入割合		.	1.2%	5.2%	6.3%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	25	12	.	.
物件費	-	-	9	9	-	-
合計	-	-	34	21	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 F： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 640人
	再診患者延べ数	約 5100人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 5.8 億円

職員	歯科医師	11～15 人
	歯科衛生士	26～30 人
	歯科技工士	0 人
	事務職員	6～10 人
	その他の職員	6～10 人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 有床歯科診療所であり、安全管理委員会、感染防止対策委員会などを開催している。
- ・ インシデント及びアクシデントレポートの分析・改善策立案等の活動を月 1 回程度行っている。
- ・ 医療事故防止マニュアル、誤飲対策マニュアル、緊急コールマニュアル、リスクマネジメントマニュアルなど 9 種類のマニュアルを作成している。
- ・ ガス滅菌器、バイオリザ殺菌装置を使用し、オートクレーブを 3 台保有。
- ・ ユニットは外部委託で週 1 回保守点検を行う。X 線量測定も外部委託で年 2 回検査している。
- ・ 医薬品調剤、手術部位等処置部位などは、複数でチェックしている。
- ・ マニュアルに定められている医療者間の確認作業は 10 種類ある。
- ・ 薬局への処方内容確認、介護保険事業者や病院・診療所との連携を行っている。
- ・ 水質検査（月 1 回）、細菌定点検査（年 4 回）、設備ガス量点検（毎日）を行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	452	1,734	.	1,734
	院外研修・活動	308	1,162	531	1,693
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	2,040	2,040
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	2,507	2,507
	医療機器等の管理等	.	600	100	700
	医薬品等の管理等	.	260	97	357
	廃棄物処理・保管	.	.	648	648
その他	インシデント/アクシデントレポート	100	451	-	451
	職業感染防止対策	.	.	757	757
	賠償責任保険	.	.	22	22
合計		860	4,207	6,702	10,910
職員 1 人当たり費用		.	74	118	191
医業収入割合		.	0.7%	1.2%	1.9%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT 機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	336	159	.	.
物件費	-	-	270	85	50	-
合計	-	-	606	244	50	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【 歯科診療所 G： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

患者	初診患者数	約 50人
	再診患者延べ数	約 800人
	院外処方率	0%
	医業収入(平成16年度1年間)	約 1.1億円

職員	歯科医師	3人
	歯科衛生士	3人
	歯科技工士	0人
	事務職員	1人
	その他の職員	4人

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 医療安全管理責任者、医療安全対策委員を任命している。
- ・ 感染予防・医療事故防止のための会合を開催している。
- ・ 院外研修として、学会のほか、歯科医師会講習会（年 5 回）に参加している。
- ・ 殺菌浄水器、滅菌灯、滅菌パックを使用している。
- ・ ユニットの保守点検を年 4 回実施。年に 1 回、棚卸しをして医薬品を整理している。
- ・ 医療者間の確認作業を 8 種類、医療者・患者間の確認作業を 2 種類、マニュアルで定めている。
- ・ 患者の自己決定のための説明は 1 日平均 20 件、1 件の説明に平均して 20 分程度かけている。
- ・ 診療行為前後の注意事項の説明は 1 日平均 50 件、1 件の説明に平均して 20 分程度かけている。
- ・ 月間 5 件程度の紹介状を作成し、逆紹介も月間 5 件程度ある。
- ・ 患者相談窓口を設置し、患者カウンセリングも行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

項目名		年間費用			
		人員の投入量 [人時]	①人件費 [千円]	②物件費 [千円]	①+② [千円]
人的投資	委員会・会合・院内研修等	18	66	.	66
	院外研修・活動	120	438	160	598
設備	安全管理に係る機器・設備等	.	.	776	776
	感染制御に係る機器・設備等	.	.	1,353	1,353
	医療機器等の管理等	.	212	-	212
	医薬品等の管理等	.	503	43	546
	廃棄物処理・保管	.	.	72	72
その他	インシデント/アクシデントレポート	-	-	-	-
	職業感染防止対策	.	.	208	208
	賠償責任保険	.	.	6	6
合計		138	1,219	2,618	3,836
職員 1 人当たり費用		.	116	249	365
医業収入割合		.	1.1%	2.3%	3.3%

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

	外部評価		マニュアル作成		IT機器(導入費用)	
	新規受審	更新受審	新規作成	更新	購入費	リース料
人件費	-	-	-	-	.	.
物件費	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-
医業収入割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%